

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。
 ◎は秋の叙勲、◎は危険業務従事者叙勲



有馬 健治 さん
 本町下河内・69歳
 ◎瑞宝双光章
 元天草広域連合消防監



山川 茂 さん
 有明町大島子・70歳
 ◎瑞宝双光章
 元天草市消防団団長



柏野 好昭 さん
 八幡町・73歳
 ◎旭日小綬章
 元本渡市議会議員



堤田 計二 さん
 五和町御領・69歳
 ◎瑞宝単光章
 元天草広域連合消防司令



濱 由美子 さん
 楠浦町・59歳
 ◎瑞宝単光章
 本渡ひまわり保育園主任保育士



木下 重人 さん
 牛深町・64歳
 ◎瑞宝単光章
 元牛深市消防団団長

— 秋の褒章・叙勲、危険業務従事者叙勲 —
受章おめでとうございませす



中世ヨーロッパを旅した音楽
 天草コレジヨ館古楽コンサート



▶パイプオルガンなど
 16世紀の古楽器で演奏

10月30日、河浦町の天草コレジヨ館で、古楽コンサートが開催されました。コンサートは「音楽と宣教の旅」と題し、ヨーロッパで活躍するリュート奏者の坂本龍右氏が、16世紀にローマに派遣され活版印刷機を持ち帰った“天正遣欧少年使節団”ゆかりの地で演奏したいとの熱意で実現したもので、潜伏キリシタンの中で伝えられた賛歌「ぐるりよさ」なども歌われ、中世の音色と歌声に聴衆50人が酔いしれていました。

日本各地の窯元が大集合
 第13回天草大陶磁器展



▶お気に入りの器を探す来場者

11月2日から7日まで、天草市民センターをメイン会場に「第13回天草大陶磁器展」が開かれました。日本各地から集まった101の窯元が個性豊かな作品を展示・販売。天草市民センター体育館では、気に入った器でコーヒーが飲めるコーナーやろくろ・絵付け体験、下浦石工の会の作品展なども行われ、多くの人でにぎわっていました。島原から訪れた家族づれは、「いろんな窯元の作品が見れてすごくよかった」と話していました。

秋の1日を満喫

みんなで登ろう！上津浦老岳ウォーク



▲景色を楽しみながら歩く参加者

10月30日、「みんなで登ろう！上津浦老岳ウォーク」が開催され、市内外から101人が参加しました。地域の活性化とPRを目的に上津浦地区振興会が開催したもので、参加者は、有明町の上津浦小学校跡地広場から老岳山頂までの片道約9kmの道のりを、景色を楽しみながら歩きました。山頂ではもちなげなどの催し物のほか、おにぎりや豚汁もふるまわれ、秋の1日を満喫していました。

地域住民の親ぼくと融和を図る

楠浦町ふれあいフェスティバル2016



▲6年生による楠浦の掘り切り唄

11月6日、楠浦町の楠浦小学校で「楠浦町ふれあいフェスティバル2016」が開催されました。同地区振興会が「出あう・ふれあう・支えあう故郷づくり」をテーマに実施しているもので、今年で36回目。園児や住民などによるステージ発表のほか、小中学生の絵画などの作品展示や郷土料理などのバザーも出店。また、学校と地域の交流を深めようと同小学校の学習発表会も行われ、多くの人でにぎわっていました。

やさしい灯りに包まれて

御領石竹秋宵まつり



▶御領石彫地蔵を觀賞する来場者

「第12回御領石竹秋宵まつり」が10月22・23日、五和町の御領門前町商店街一帯で開催され、市内外から約4,000人が来場しました。御領まちづくり振興会が毎年開催しているもので、地域住民が作った竹・御領石・陶器などの灯ろう約8,000個を設置。灯ろうに火がともされると、会場一帯は幻想的な雰囲気になりました。来場者は、やさしい灯りをながめながら、秋の夜を楽しんでいました。

天草最高峰を目ざして

第17回天草最高峰倉岳ウォーク



▶山頂を目ざす参加者

11月13日、天草最高峰“倉岳(682m)”の山頂を目ざす「第17回天草最高峰倉岳ウォーク」が開催されました。同ウォーク実行委員会と棚底地区振興会が毎年開催しているもので、自然登山道を歩く「トレイルコース(4.8km)」と、車道を歩く「車道コース(8.5km)」に、市内外から239人が参加。参加者は不知火海の島々や“倉岳”の紅葉を眺めながら、思いおもいのペースで天草最高峰でのウォーキングを満喫していました。